



現年
県単事業 令和 07 年度 尼崎こう水門管理費

債務合併
工事設計図書

工事番号 尼こう水門 第 0000-0- 号

河川路線名等 尼崎西宮芦屋港
工事名 尼崎閘門及び東高洲橋等管理業務委託

工事箇所 尼崎市西海岸町

細かいそ名 尼崎こう水門管理費

兵庫県 尼崎港管理事務所



鏡N O .07-0088

起工伺兼工事設計書

本庁				県民局						工事業務課			起案	年	月	日	
課長	副課長	係長	審査	局長	副局長	所長	副所長	課長	精算・審査	設計	副所長	課長	担当	決定	年	月	日
														起工番号 第		号	

現年
県単事業 令和 07 年度 尼崎こう水門管理費 債務合併

工事番号	尼こう水門 第 0000-0- 号			工 事 概 要					
工 事 費				延 長 L =		幅 員 W =			
	実 施 (前回変更) 円	今回変更 円	増 減 額 円	左 岸 L =		右 岸 L =			
設 計 額 [基 準 適 用]				概 要 名			数 量	単 位	
請 負 額				尼崎閘門及び東高州橋等管理業務			1.0	式	
工 期	施工日数	日							
	施工期限	令和 9年 3月31日限り							
執 行 方 法									

施行管理計画番号	枝番号	会計	
		節	
		契約方法	
		契約理由	

特記仕様書

(適用範囲)

第1条 この仕様書は、下記の委託業務の履行について適用する。

(1) 委託業務名 : 尼崎閘門及び東高洲橋等管理業務委託

(2) 履行場所及び名称: 尼崎市西海岸町他

(3) 履行期間 : 令和8年4月1日～令和9年3月31日

ただし、履行期間の終了の日までに、委託者から何らの意思表示がないときは、その翌日において更に1年間この契約を更新するものとし、その後、令和11年3月31日までの間は毎年同様に更新できるものとする。

(4) 契約数量 : 本業務における契約数量および契約更新後の契約数量(予定)は下記のとおりであり、更新時の請負代金額の変更はこれに応じて行うものとする。

費目・工種明細など	単位	令和8年度業務 契約数量	令和9年度業務 契約数量(予定)	令和10年度業務 契約数量(予定)
看視①	回	365	366	365
看視②	回	365	366	365
高操①	回	338	339	337
高警①	回	338	339	337
高操②	回	338	339	337
高警②	回	338	339	337
高操③	回	338	339	337
高警③	回	338	339	337
高操④	回	338	339	337
高警④	回	338	339	337
高操⑤	回	338	339	337
高警⑤	回	338	339	337

(用語の定義)

第2条 本仕様書に使用する用語の定義は、次の各項に定めるところによる。

1. 「委託者」とは、契約担当者をいう
2. 「受託者」とは、業務の実施に関し、発注者と契約を締結した個人若しくは会社その他法人をいう。
3. 「監督員」とは、契約図書に定められた範囲内において受託者の業務総括責任者に対する指示、承諾、回答または協議を行う者であり、総括監督員と主任監督員を総称して言う。
4. 「従業員」とは、業務総括責任者および運転操作看視員をいう。
5. 「業務総括責任者」とは、業務全体の責任者で、総括の職務にあたり管理能力がある者で、受託者が定め委託者が承諾した者をいう。
6. 「運転操作看視員」とは、業務総括責任者のもとで実際に業務に従事する者で、受託者が定め委託者が承諾した者をいう。
7. 「承諾」とは、受託者が監督員に対し、書面で申し出た業務の遂行上必要な事項について、監督員が書面により業務の行為に同意することを言う。
8. 「協議」とは、書面により契約図書の協議事項について、委託者と受託者が対等の立場で合議することをいう。
9. 「報告」とは、受託者が監督員に対し、業務の遂行に係わる事項について、書面をもって知らせることをいう。
10. 「提出」とは、受託者が監督員に対し、業務に係わる事項について、書面又はその他の資料を説明し、差し出すことをいう。
11. 「書面」とは、手書き、印刷等の伝達物をいい、発行年月日を記録し、署名または捺印したものを有効とする。緊急を要する場合はファクシミリまたはEメールにより伝達できるものとするが、後日有効な書面を提出するものとする。
12. 「指示」とは、監督員が受託者に対し、業務の遂行上必要な事項について書面をもって示し、実施させることをいう。緊急を要する場合は、電話等での口頭でも伝達できるものとするが後日有効

な書面を提出するものとする。

- 13.「打合せ」とは、業務を適正かつ円滑に実施するために業務総括責任者等と監督員が面談により、業務の方針及び条件等の疑義を正すことをいう。

(業務概要)

第3条 本業務は、船舶の通航の確保、港内の水位維持を目的として、尼崎港閘門(第1・第2)、東高洲橋の運転看視操作を行うものである。また、緊急の非常時においては東浜排水機場・北堀水門・丸島水門等の遠隔操作も含まれる。

(委託業務の内容)

第4条 委託業務の主な内容等は次のとおりである。

(1) 閘門運転操作看視業務

- ア 港内水位を考慮した、閘門・北堀水門の操作及び看視
- イ 船舶種別毎の通航船舶数記録、閘門・(北堀水門)操作時刻・回数記録
- ウ 上記記録の作成整理
- エ 放送、LED表示板による船舶への航路指示
- オ 東高洲橋看視開始の連絡受信
- カ 尼崎港管理事務所職員との業務引継ぎ(情報伝達)
- キ その他運転上必要な業務
- ク 管理橋の操作及び看視
- ケ 水門、排水機場などのアラーム対応
- コ 港湾無線の送受信

(2) 気象・水象状況看視業務

- ア 所定の気象・水象測定項目の看視
- イ 上記記録の作成整理
- ウ その他看視上必要な業務

(3) 緊急時伝達業務

- ア 所定の状況に達した時の連絡の他、緊急連絡
- イ 上記記録の作成整理
- ウ その他伝達上必要な業務

(4) 緊急時施設操作業務

- ア 緊急の災害時において、閘門・北堀水門の操作及び看視の他、尼崎港管理事務所職員の到着までに甚大な被害が発生すると予想される時に限り、尼崎港管理事務所長の指示により行う、東浜排水機場および丸島水門等の遠隔操作。看視カメラ等での十分な安全確認を行ったうえでの操作において生じる全ての事故等の責務は兵庫県が負うこととする。
- イ 上記記録の作成整理

(5) 東高洲橋運転操作看視業務

- ア 東高洲橋現地操作室等において行う可動橋等の操作および看視
- イ 可動橋運転時の通行車両の一時停止確認および台数記録
- ウ 看視時における施設目視点検および記録
- エ 上記記録の作成整理
- オ 看視開始報告(業務総括責任者へ)
- カ その他運転上必要な業務

(業務の履行)

第5条 受託者は、施設の機能を十分発揮するよう、契約書に基づくほか、本仕様書に基づき、能率的かつ安全に業務を履行しなければならない。

(業務計画)

第6条 受託者は、業務着手時及び毎月20日までに、次の事項について、翌月の業務計画書を作成し、監督員に提出しなければならない。

- (1) 業務分担、業務方法、業務内容に関すること。
- (2) 保安対策、安全対策に関すること。
- (3) 緊急連絡体制に関すること。
- (4) 支給材料及び貸与物件などの管理に関すること。

(5)その他維持管理に関すること。

(業務報告)

第7条 受託者は、業務実績を明らかにするために監督員が指示する書式により、毎日報告しなければならない。また、毎月5日までに前月の業務結果報告書を監督員に提出しなければならない。ただし、3月度分業務結果報告書については月末までとする。年間・月間操作実績、支給品使用状況、事故報告、施設異常報告等の各報告及び委託者が要求した業務の報告を正確に遅滞なく行わなければならない。

なお、日常の報告は県が実施するミーティング(平日:朝夕2回)にて行うこと。

(従業員の届出及び異動)

第8条 受託者は、業務開始までに業務に従事する従業員の写真が添付された名簿、必要な資格取得を証明するものの写し及び組織表を書類により委託者に届け出、承諾を受けなければならない。また、異動がある場合も同様とする。

(業務総括責任者)

第9条 業務総括責任者は、つぎの各号に掲げる職務を行い、1名を選任する。

- (1)従業員の指揮、監督、教育及び事故の防止。
- (2)日常の業務の履行にあたって、監督員との連絡及び協議。
- (3)業務の履行のため、必要な図書の作成。

(従業員の資格基準)

第10条 従業員は、心身共に健全で業務に十分耐えうると認められるもので、次に掲げるものとする。また、業務総括責任者及び運転操作看視員は受託者が適正に雇用していることを証明する書類を提出すること。

(1) 業務総括責任者

他の技術者、技能員に的確な指示判断が出来る能力を有するもので、管理及び高度な技術を有する者として、次に掲げる1つに該当する者とする。

ア 大学において、土木、電気、機械のいずれかにに関する専門課程を修了し、卒業後、排水機場等の土木施設運転看視における実務経験を5年以上有する者。

イ 工業高校以上において土木、電気、機械のいずれかにに関する専門課程を修了し、卒業後排水機場等の土木施設運転看視における実務経験を9年以上有する者。

ウ ポンプ施設管理技術者または電気主任技術者の有資格者である者。

エ 排水機場等の土木施設運転看視における実務経験を12年以上有する者で、委託者が認める者。

オ 上記と同等の能力を有するものとして委託者が認めた者。

(2) 運転操作看視員

次に掲げる1つに該当する者とする。

ア 設備の保守管理の実務経験を3年以上有し、かつ排水機場等の土木施設運転看視における実務経験を継続して1年以上有する者。

イ 上記と同等の能力を有する者で、電気、機械等の基礎的な技術能力を有し、的確な判断の元に、運転看視操作が行えるものとして、委託者が認めた者。

(有資格者の配置)

第10条の2 東高洲橋運転操作看視業務において、警備業法に定める交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を1名以上配置すること。

(業務体制)

第11条 別表「勤務態勢表」による。

(緊急時の態勢)

第12条 受託者は、地震、津波、事故等により施設の稼働に緊急かつ重大な支障を生じると予想される場合、従業員の安全を確保の上、委託者の指示により速やかに施設の操作等が出来る態勢整備に努めなければならない。

(安全の確保)

第13条 受託者は、事故防止を図るため、安全対策を安全管理計画書で、明確にしておかなければならない。

2. 受託者は、業務履行に当たり必要な安全対策を行うとともに適切な作業方法の選択及び従業員の配置割当を行い、危険防止に努めなければならない。
3. 受託者は、委託者が別途発注する工事等がある際に作業場所が隣接又は交錯する場合には、常に相互協調して、安全管理に支障がないように処置しなければならない。
4. 受託者は、業務履行に当たり安全管理上の障害が発生した場合には、直ちに必要な処置を講じ、かつ、速やかに監督員に連絡するとともに、その指示に従わなければならない。
5. 受託者は、委託者が実施する防災等に係わる保安管理教育や防災訓練等について参画し、また、受託者においても安全教育等を実施しなければならない。

(受託者の義務)

第14条 受託者は、本仕様書、尼崎港開水門施設管理規定、尼崎港開水門施設管理施行細則、開水門操作についての心得等に従い、施設の運転看視を行わなければならない。また、業務の実施に当たっては関係法令を遵守すること。

なお、施設の異常、異常気象等の問題が発生した場合は、速やかに委託者に通報連絡し指示を受け、適切な処置を行わなければならない。ただし、火災、事件・事故(油流出や船舶事故等)に類すると考えられる事態には、消防・警察・海上保安庁への連絡も行うこと。処置後、早急に記録を書面で提出すること。

2. 受託者は、定期的に健康診断を実施するなど、従業員の健康管理に努めること。

(受託者の責任)

第15条 前条の規定に基づく操作に起因して発生した事故、施設破損については委託者が責任を負うものとするが、当該操作において受託者による瑕疵が認められる場合については、この限りでない。

(各種機器の運転)

第16条 受託者は、業務計画に沿って各種機器の機能及び制御方法等を十分理解し、運転操作を適正に行わなければならない。

2. 委託者から工事等に必要な措置を講じるために運転操作を指示されたときは、その指示に従うこと。

(火災の防止)

第17条 受託者は、施設の火災を未然に防止するため、火気の正確な取り扱い及び後始末を徹底させ火災を未然に防止しなければならない。また、開門地区内および東高洲橋にて火災を発見した場合は、消防・尼崎港管理事務所職員へ連絡するとともに、初期消火に努めなければならない。

(盗難の防止等)

第18条 受託者は、現場における設備機器、工具備品等の盗難及び、開門地区への侵入者の防止については、十分看視に努め、必要であれば警告しなければならない。

(貸与物件等)

第19条 貸与物件等は次のとおりとする。その使用については、受託者は事前に委託者の承諾を得なければならない。

- (1) 業務の履行に必要な室等の施設。
- (2) 業務の履行に必要な完成図書。

2. 受託者は、前項第1号に定める施設の使用に当たっては、あらかじめ使用願を提出するものとす

る。また、使用目的等の変更がある場合も同様とする。

3. 受託者は、貸与品については、台帳を作成し、その保管状況を常に把握し、善良なる管理を行わなければならない。
4. 受託者は、上記貸与物件(1)を借り受ける時は、現状を記録し、業務完了後に現況復旧を行うものとする。

(受託者が備える物品等)

第20条 業務履行に必要な物品のうち、受託者が備える物品は、次のとおりとする。

- (1) 什器、備品及び消耗品の例(別表-1)
- (2) 業務の履行に必要な安全対策器具類の例(別表-2)
- (3) その他本仕様書に明記されていないものであっても、当然必要と認められるもの。

(委託者が支給する消耗品等)

第21条 業務の履行に必要な消耗品等のうち、委託者が支給するものは次による。

- (1) 光熱水(電気、水道、重油、灯油)。
 - (2) その他、委託者が必要と認めたもの
- 2 受託者は、前項(2)の支給品において委託者が指示する物の使用状況を明らかにし、委託者の確認を受けなければならない。

(従業員の服装・態度等)

第22条 受託者は、従業員に安全かつ清潔な統一した服装をさせ、胸には名札を付け、規律正しい態度で、業務に努めなければならない。

(整理・整頓)

第23条 受託者は、業務場所及び貸与施設を常に整理整頓、清掃するとともに、不要な物品等を整理し、清潔に努めなければならない。

(使用可能便所)

第24条 受託者が使用可能な便所は集中コントロールセンター3, 4Fのものとし、常に清潔であるよう清掃しなければならない。

(業務の引継)

第25条 受託者は、委託者が必要と認める期間(業務開始日までも含む)において、前年度受託者より技術指導を受け、業務の遂行に支障をきたすことのないようにしなければならない。

2. 受託者は、業務満了の日まで委託者が必要と認める期間において、次年度の受託者に対して技術指導を行わなければならない。これに要する費用は、技術指導を受ける者の負担とする。

(業務の再委託等)

第26条 受託者は、本委託を第三者に委託し、又は下請負する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 受託者が、本委託における総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理をするものであること。
- (2) 再委託する第三者(以下「協力者」という)、又は下請負者が、兵庫県の入札参加資格者である場合は、指名停止期間中でないこと。
- (3) 受託者は、本委託の全部若しくは大部分を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。
- (4) 受託者は、本委託を第三者に委託し、又は下請負する場合には、発注者の承諾を得なければならない。
- (5) 受託者は、協力者、又は下請負者に対し適切な指導及び管理のもとに業務を実施しなければならない。

(県内業者育成等)

第27条 受託者は、本委託を第三者に委託し、又は下請負する場合には、県内業者育成の観点から、地元業者の雇用に配慮すること。

2. 受託者は、施設の運転管理業務に従事する技能員を雇用する場合には、県内技能労務者の雇用機会を確保する観点から、地元技能労務者の雇用に配慮すること。

(施設供用予定)

第28条 発注時における施設の供用予定は以下のとおりであるが、県業務等の都合により、供用種別、業務対象時間及び期間が変更される場合がある。この場合、受託者は尼崎閘門及び東高洲橋について、業務態勢ならびに業務執行日を変更しなければならない。

尼崎閘門供用予定

1基供用:12月29日 0:00～1月4日 9:00(年末年始期間)まで

2基供用:1基供用の期間を除く全期間

上記に係わらず、全日の0:00～7:00及び18:00～24:00は1基供用である。

2. 東高洲橋供用予定

毎月第1・3日曜日、12月31日～1月3日(年末年始期間)を除く全日稼働予定である。

本業務においては履行期間における、稼働予定日すべての運転監視操作を対象とする。

可動橋操作時間帯

(括弧内は受託者業務時間:閘門地区からの移動の場合のみ、移動時間を含めてよい)

① 6:00～6:30 (5:45～6:45)

② 9:10～9:30 (8:55～9:45)

③ 12:30～13:00(12:15～13:15)

④ 15:20～15:40(15:05～15:55)

⑤ 19:30～20:00(19:15～20:15)

(作業要領)

第 29 条 運転操作看視業務

開水門運転操作看視業務

- (1) 各施設の運転操作は、目視及び看視カメラ等にて安全確認を行ってから運転すること。
- (2) 開門運転操作は常時行い、潮位差のある場合は急激に開放しないこと。
- (3) 港内の管理水位は、OP+1.1m、(TP-0.2m)とすること。(下限 OP+0.8m、(TP-0.5m)とする。)
- (4) 看視時において降雨等による港内水位の急激な上昇・異常潮位等がある場合については、尼崎港管理事務所職員へ連絡すること。
- (5) 空調機の運転管理を行うこと。(温度及び湿度には注意して管理すること。)
- (6) 毎日の運転記録、作業記録等の整理をすること。
- (7) 施設誤動作の緊急対処および内容の記録、船舶事故時等に現認書の作成を行うこと。
- (8) 土日祝、平日夜間は、開門地区東側ゲートを閉鎖し、原則、部外者の立ち入りを禁止すること。
- (9) 勤務時間内における工事において、施設類の操作が必要である場合は、尼崎港管理事務所職員と事前に打ち合わせの上、実施すること。
- (10) 潮位が港内水位以上の場合、前扉と後扉は同時に開放してはならない(絶対禁止)。
- (11) 開門開放時においては、北堀水門の開度を 0.5m にすること。また、開門閉鎖時には北堀水門を閉鎖すること。

2 気象・水象状況看視業務

- (1) 看視時間における最大風速・風向および発生日時の記録を行うこと。
- (2) 看視時間における尼崎・伊丹雨量の記録を行うこと。
- (3) 看視時間における満潮・干潮の潮位と時刻の記録を行うこと。
- (4) 看視時間における気温・気圧の最高・最低値と時刻の記録を行うこと。

3 緊急時伝達業務

- (1) 別途指示する状況の時に、別途指示する尼崎港管理事務所職員へ状況を連絡すること。
- (2) 上記報告の内容・発信者・受信者・時刻の記録を行うこと。

4 緊急時施設操作業務

- (1) 丸島水門の閉鎖および開放
- (2) 北堀水門の閉鎖および開放
- (3) 開門(前扉・後扉)の閉鎖(ロックピンの挿入含む)および開放
- (4) 東浜排水機場の起動および停止(東浜第1、第2排水機場1号・2号ポンプの発停をおこなうこと。ただし、1号・2号ポンプは常に1台のみの稼働を守ること。(2台同時運転ではデマンドを超える))
- (5) 停電時の自家発電機起動および切替
- (6) 陸開・樋門の閉鎖および開放
- (7) 上記操作の指示者・指示日時・操作時刻・施設稼働確認時刻・操作者の記録を行うこと。
- (8) 上記操作習熟のため、県にて行う日常点検業務と連動し、試運転遠隔操作を行うこと。
- (9) その他、委託者と受託者との間で協議の上決定した内容

5 東高洲橋運転操作看視業務

- (1) 操作時間帯における現地看視を行うこと。
- (2) 上記看視の開始時点での連絡を行うこと。
- (3) 通航船舶数の日別、種別、入出港別、時間帯別の記録および通行待ち車両数の記録を行うこと。
- (4) 可動橋操作時の通行車両の一時停止を行うこと。
- (5) 遮断器・電光表示板等設備の稼働を確認すること。
- (6) 操作室の施錠を行うこと。
- (7) 空調機の運転管理を行うこと。
- (8) 看視前の施設目視点検および電力メーター値確認および記録を行うこと。
- (9) 台風などの強風が予想される際に、遮断器をロックすること。

(開門等設備概要)

第 30 条 尼崎開門等の設備概要は以下の通りとする(主な委託範囲:○)。

1 尼崎開門(第1、第2)

1) 前扉(電動機駆動)○	2門
2) 後扉(電動機駆動)○	2門
3) 防衝装置	8組
4) 防衝工クレーン	2基
防衝工	1式
5) 管理橋○	2基
6) キャブスタン	8台
7) 外潮位計	1式
8) 内水位計	1式

2 東高洲橋

1) 可動橋○	1式
2) 港湾無線(子機)○	1台
3) 空調機	1台

3 集中コントロールセンター

1) 開門遠隔操作盤○	2面
2) 看視モニター	1式
3) 北堀水門遠隔看視操作卓○	1台
4) 丸島水門遠隔看視操作卓○	1台
5) 東浜排水機場遠隔看視操作卓○	1台
6) 海岸保全施設看視システム	1式
7) CCTV操作システム	1式
8) 放送設備○	1式
9) 自火報盤○	1面
10) 空調設備	1式
11) 電気錠設備○	1式
12) 自家発電機	1式
13) エレベーター	1台
14) 港湾無線○	1台
15) LED表示板(操作盤とも)○	1式
16) 電気設備	1式
17) 通信設備	1式
18) 警備装置	1式

4 北堀水門

1) スラストゲート(電動)○	1門
2) 非常用原動機	1台
3) 空調機	1台

5 丸島水門

1) 2段式スラストゲート(電動)○	1門
2) 自家発電機	1台
3) 管理橋	1基
4) 防衝工クレーン	1基
5) 空調機	1台

6 東浜排水機場

1) 排水ポンプ(原動機駆動:合計能力 72m ³ /s)○	8 台(内2台電動駆動可)
2) 中央操作室○	1 式

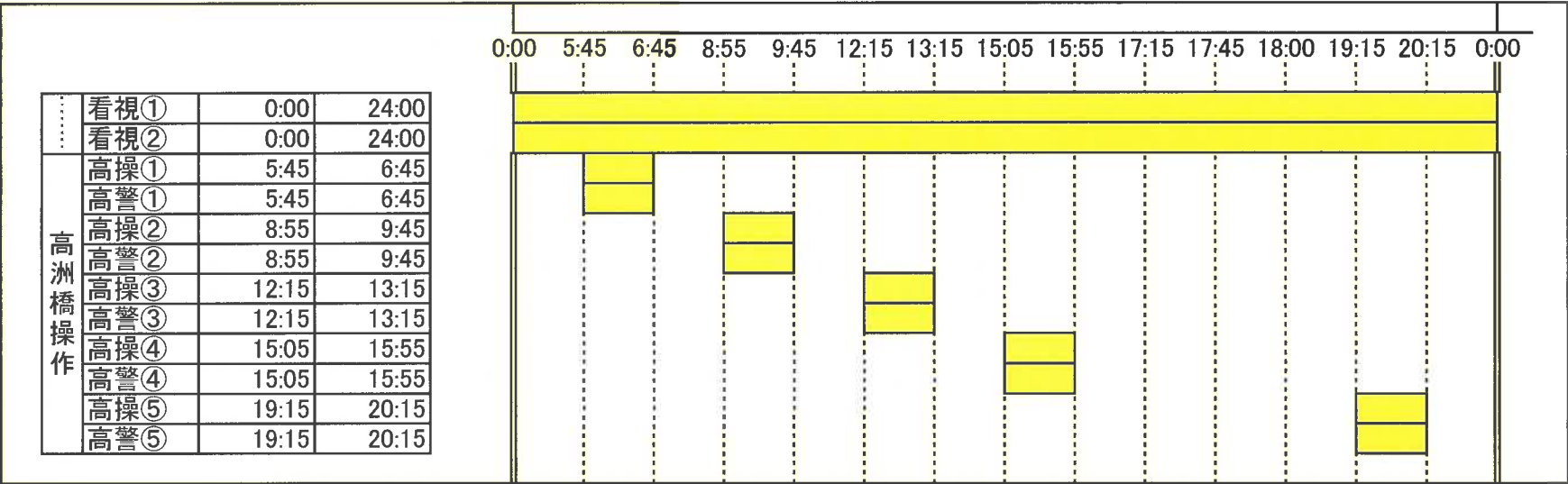
別表－1

連絡用自動車	被服類	整備用品
自転車	下足箱	(清掃用具等)
電話機(携帯含む)	傘立て	衛生用品
事務用机類	掃除具収納庫	(石鹼、消毒薬、緊急用薬品)
事務用椅子類	双眼鏡	トイレットペーパー
看視用椅子類	ロッカー類	その他日用品
書庫類	茶器類	事務用品等
黒板類	寝具類	報告用紙等
プリンタ類	履き物類	その他
デジタルカメラ		
パーソナルコンピューター		

別表－2

器 具 類	被服・履き物	
ヘルメット	作業服(上下)	安全靴
安全帯	(夏用、冬用)	作業靴
	雨ガッパ	長靴
	軍手	上履き
		その他

勤務態勢表



部を受託者が対応する。

閘門監視にあたる職員は、監視業務中は、高洲橋操作をかねてはならない。

12/29～1/4の明勤までは、1基供用である。

毎月第1, 3日曜日、12/31～1/3は東高洲橋監視操作は行わない。

高洲橋操作の勤務時間は、閘門地区からの移動時間のみを含める。

監視①②は、全て閘水門等監視操作における業務時間の名称である。

高操①～⑤は、全て東高洲橋監視操作における業務時間の名称である。

高警①～⑤は、全て東高洲橋警備における業務時間の名称である。

尼崎港開水門施設管理規程

令和4年8月

尼崎港管理事務所

尼崎港閘水門施設管理規程

昭和 43 年 6 月 25 日付港第 6 3 8 号

昭和 56 年 5 月 11 日一部改正(港第 62 号)

平成 14 年 3 月 29 日一部改正

平成 18 年 3 月 31 日一部改正(神南第 1336 号)

平成 26 年 4 月 1 日一部改正(神南(尼港)第 1468 号)

令和 4 年 8 月 5 日一部改訂(神南(尼港)第 1208 号)

目次

第 1 章 総 則	2
第 2 章 施設の維持管理及び操作	2
第 1 節 平常時の管理	3
第 2 節 警戒時の管理	3
第 3 節 ポンプ排水操作	5
第 4 節 閘水門の操作	5
第 5 節 可動橋の操作	6
第 6 節 通行船舶の制限	7
第 3 章 無線局の管理	8
付 則	

第 1 章 総 則

(趣 旨)

第 1 条 この規程は、尼崎港開水門施設（以下「施設」という。）の維持管理及び操作に関して必要な事項を定めるものとする。

(定 義)

第 2 条 この規程にいう「施設」とは別表第 1 に掲げるものをいう。

(施設の管理)

第 3 条 施設は、尼崎港管理事務所長（以下「所長」という。）が管理する。（施設台帳）

第 4 条 所長は、管理する施設の台帳を作成し、これを保管するものとする。

第2章 施設の維持管理および操作

第1節 平常時の管理

(施設の点検整備)

第5条 所長は常に施設の点検整備を行い、良好な状態を維持しなければならない。

2. 所長は、前項の点検により、異常を認めた場合は、直ちに必要な措置を講ずるものとする。

(開水門閉鎖水位の決定)

第6条 所長は、開門および水門（以下「開水門」という。）の閉鎖水位について、阪神南県民センター長（以下「センター長」という。）の承認を受けるものとする。これを変更しようとするときも同様とする。

2. 所長は、降雨その他緊急やむをえないと認めたときは、開水門閉鎖水位を変更することができるものとする。

(調査測定)

第7条 所長は、開水門操作にかかる次に掲げる事項について調査測定し、その結果記録表（様式第1）により作成し、翌月10日までにセンター長に報告するものとする。

- (1) 気 象 状 況
- (2) 開水門操作時間
- (3) ポンプ運転延時間
- (4) 通行船舶出入状況

第2節 警戒時の管理

(警戒勤務)

第8条 所長は次の各号のいずれかに該当する場合は、警戒勤務につくものとする。

- (1) 大雨注意報、高潮注意報、洪水注意報、津波注意報もしくは、警報、特別警報、大津波警報または兵庫県水防指令が発令されたとき。
- (2) 前号に掲げる場合のほか警戒勤務が必要であると認めたとき。

(警戒勤務時の処置)

第9条 所長は前条の規定により警戒勤務についたときは、各号に掲げる処置を講ずるものとする。

- (1) 必要な人員、機器及び材料を各部署に配置すること。
- (2) 気象情報、潮位表及び船舶状況を勘案して、閘水門を閉鎖し、必要があると認めたときは、ポンプ排水を行うこと。
- (3) 次に掲げる場合は閘門を閉鎖すること。

ア 外水位が $T.P. + 1.3$ ($O.P. + 2.6$)メートル以上になったとき。

※ただし、 $T.P.$ = 東京湾平均海面、 $O.P.$ = 大阪湾最低潮位、を意味する)

イ 外水位が $T.P. + 1.3$ ($O.P. + 2.6$)メートル未満であっても平均風速20メートル以上になったとき。

ウ 津波注意報、津波警報、大津波警報が発令されたとき。

エ その他必要があると認めたとき。

- (4) 丸島水門は、第3号ウ、エの場合ならびに、外水位が $T.P. + 1.2$ ($O.P. + 2.5$)メートルになり、なお上昇が見込まれる場合、閉鎖すること。
ただし、 $T.P. + 1.3$ ($O.P. + 2.6$)メートルをこえないように閉鎖すること。

- (5) 北堀水門は、第3号ウ、エの場合、閉鎖すること。

- (6) 絶えず、気象、水文の観測に努め、正確に記録すること。

(閘門閉鎖の通知)

第10条 所長は、前条第3号の規定により、閘門を閉鎖した時は、その旨を別表第2に掲げる関係機関（以下「関係機関」という。）に通知するものとする。
ただし、事前に協議されている事態においては通知を要しない。

(閘門閉鎖の表示)

第11条 所長は、閘門を閉鎖したときは、その旨を表示するものとする。

(警戒勤務の解除)

第12条 所長は、警戒勤務の必要がなくなつたと認めたときは、警戒勤務を解除するとともに、使用機械の点検整備を行い次期に備えるものとする。

(被害報告)

第13条 所長は、次に掲げる事項を調査し、その結果をセンター長に報告するものとする。

- (1) 施設の被害状況
- (2) その他必要な事項

第 3 節 ポンプ排水操作

(ポンプ排水)

第14条 所長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、ポンプ排水を行うものとする。

- (1) 水門閉鎖中、降雨等により、内水位が上昇すると予想されるとき。
- (2) 洪水が予想され、あらかじめ堤内水位を低くしておく必要があるとき。
(ただし、原則 $T.P. - 0.7$ ($O.P. + 0.6$)メートルまでとする。)
- (3) その他必要があると認めたとき。

第15条 ポンプの排水運転は各ポンプの排水能力を越えて行ってはならない。

2. 各ポンプの排水能力を越えて逆流が起こる場合は、附属の蝶型弁を絞り調整又は全閉し、流入を防ぐものとする。

3. (削除)

第16条 ポンプ排水中は原動機の制限出力をこえて運転してはならない。

第 4 節 閘水門の操作

第17条 ゲートの操作を行う場合は、通航船舶に注意し、漂流物等によるゲートの損傷を除くよう努めなければならない。

2. 次の各号に掲げる場合においては、それぞれ当該各号に掲げる信号を行って船舶通航の安全を図るものとする。

- (1) 通航に支障のないとき。

青色信号灯又は白旗表示。

- (2) 通航に支障のあるとき。

赤色信号灯又は赤旗表示。

第18条 閘門操作は、内外水位差0.5メートルをこえる場合は、船舶の事故防

止をはかるため、ゲートを急激に開放してはならない。

2. ゲートの開放に先立ち、ジェットポンプを運転し、防衝鎖を張り、ゲートの損傷を防ぐものとする。

第19条 丸島水門は、平常時（ $T.P. + 1.3$ ($O.P. + 2.6$)メートル未満）は開放するものとする。

ただし、豪雨その他により、所長が必要と認めた場合は、この限りでない。

第20条 水門ゲートの開放は、原則として内外水位差が同一になったとき行うものとする。

第21条 台風、津波等において閘門を閉鎖した場合は、「ロックピン」を挿入し、ゲートを固定しなければならない。

2. また、以下の場合は、閘門および水門に「防衝工」を設置しなければならない。

(1) 台風時等において外水位が $T.P. + 1.3$ ($O.P. + 2.6$)メートルとなり、尚上昇が予想されるとき。

(2) 津波注意報、津波警報、大津波警報発令時

ただし、津波到達予想時刻の30分前（閘門敷地内においては15分前）までに操作が終了しない場合、操作を中止し指定避難場所等まで退避すること。

(3) その他、必要と認められるとき。

3. 台風時等において閘門閉鎖時に洪水が予想される場合は、北堀水門を閉鎖して事前に排水運転を行う。更に必要が生じたときは、丸島水門を閉鎖、北堀水門を開放して事前に排水運転を行わなければならない。

第 5 節 可動橋の操作

第22条 所長は、可動橋の定時運転を行うものとし、その開閉時刻はセンター長の承認をうけるものとする。これを変更しようとするときも同様とする。

2. 前項の規定により、開閉時刻を定めたときは、関係機関に通知するものとする。

3. 開閉が緊急やむを得ないものと認めたときは、関係機関と連絡を取るなどの措置をするものとする。

第23条 所長は次の各号のいずれかに該当するときは、可動橋の操作を中止するものとする。

- (1) 東高洲橋付近において風速毎秒20メートルをこえると予想されるとき。
- (2) 津波注意報、津波警報、大津波警報が発令されたとき。
- (3) その他必要と認めたとき。

第 6 節 通航船舶の制限

第24条 閘門は、原則として、第一閘門を入港、第二閘門を出港として操作を行うものとする。

2. 閘門を出入する船舶は第一閘門、第二閘門にあつては500総トン相当船以下とし、操作中、閘室内に出入する引き船は、次の各号に掲げるものをこえて、えい航してはならない。

- | | |
|-------------------------|-----|
| (1) 50重量トン以下の舢 | 5 隻 |
| (2) 50～100重量トンの舢 | 3 隻 |
| (3) 100重量トン以上の舢 | 2 隻 |
| (4) いかだ 長50メートル（巾9メートル） | |

第25条 北堀水門を出入する船舶は、150重量トン級舢とし、その他の水門は200総トン級機帆船相当船以下とする。

2. 丸島水門を出入する船舶のマスト高は、水面上12.5メートルまでとする。
(投びょうの禁止区域)

第26条 施設保全のため、次に掲げる場所における投びょうを禁止するものとする。

- (1) 閘門、水門の構内。
- (2) 閘門付近の誘導堤の周辺5メートル以内。

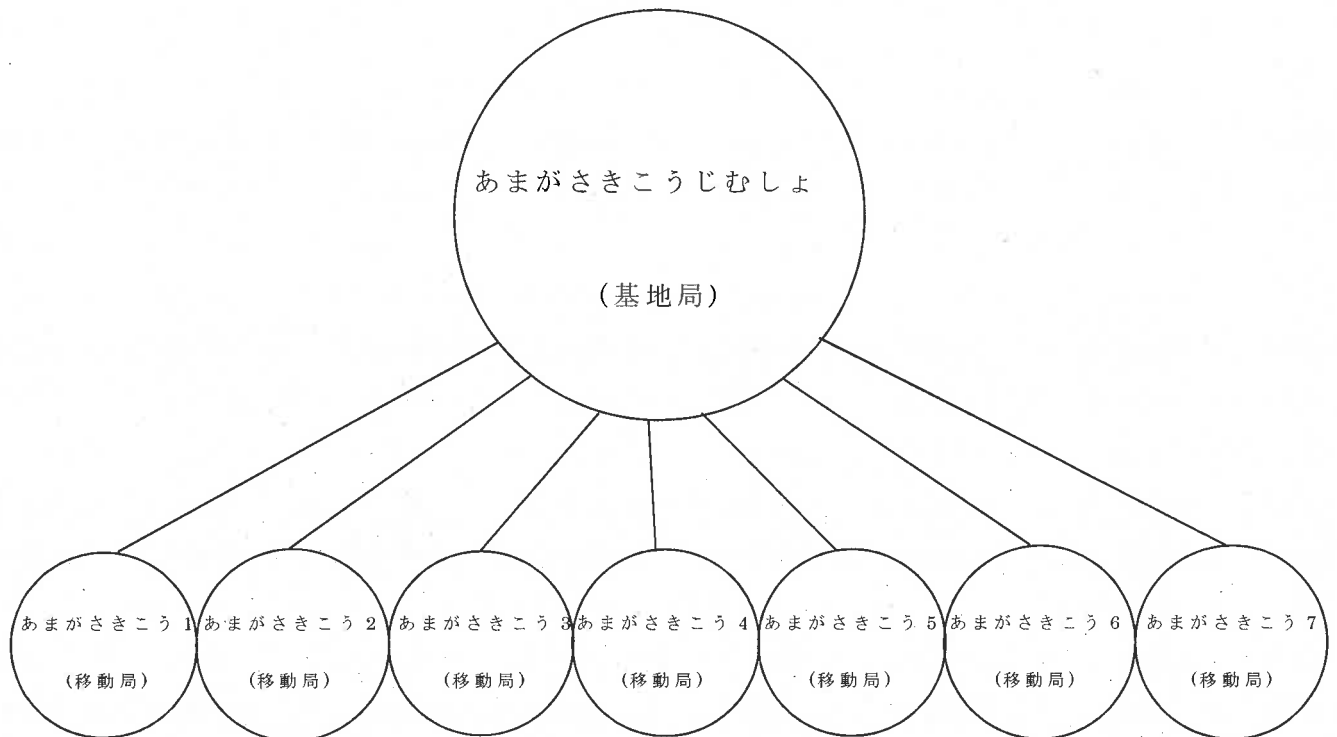
第3章 無線局の管理

(通 則)

第27条 無線局の運営に関しては、電波法（昭和25年法律第131号）によるものとし、その他はこの規程の定めるところによる。

(通信経路)

第28条 無線局の通信系路は、次のとおりとする。



2. 無線局の通信は基地局と移動局及び移動局相互間で行うものとする。

(使用及び運用の責任)

第29条 無線従事者（第2級陸上特殊無線技士以上の有資格者であって、無線局に選任された者）は無線設備その他備品及び業務書類の取扱及び無線電話の通信（以下「通信」という。）の操作に関する責任者とする。

(通信の内容)

第30条 通信は、設置目的に反するものであってはならない。

(通信取扱時間)

第31条 通信時間は常時とする。

(無線従事者の心得)

第32条 無線従事者は、常に通信の運用状況機器装置の状態等を把握し、無線局の機能を最高度に発揮するよう努めなければならない。

(通信の順序又は中断)

第33条 通信が複そうする場合は、基地局は、各無線局の緊急度等を勘案して、通信の順序又は通話の中断を指示することがある。

附 則

1. この規程は昭和43年6月25日から施行する。
2. 尼崎港開水門操作要領(昭和35年7月)は廃止する。

附 則

1. この規程は昭和56年5月11日から施行する。

附 則

1. この規程は平成14年月29日から施行する。

附 則

1. この規程は平成18年3月31日から施行する。

附 則

1. この規程は平成26年4月1日から施行する。

附 則

1. この規程は令和4年8月5日から施行する。

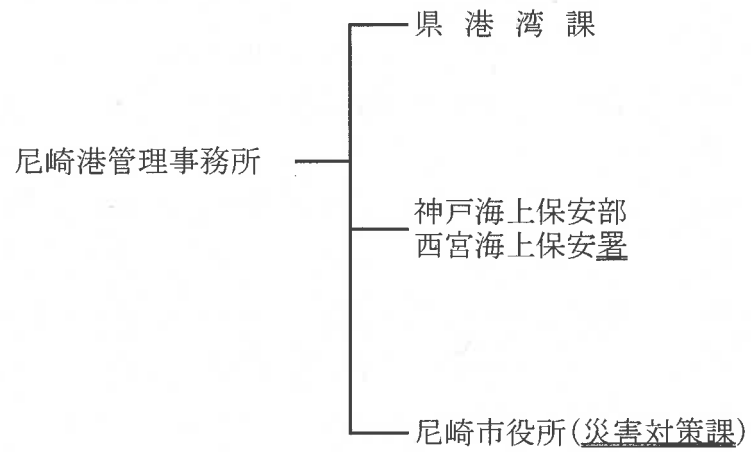
別表第1

尼 崎 港 閘 水 門 施 設

施 設 名	名 称	所 在 地
集 中 C C	集中コントロールセンター	尼崎市西海岸町
閘 門	尼 崎 港 第 一 閘 門	同上
	尼 崎 港 第 二 閘 門	同上
水 門	丸 島 水 門	尼崎市丸島町
	北 堀 水 門	尼崎市元浜町
ポ ン プ 場	東 浜 第 1 ポ ン プ 場	尼崎市東海岸町
	東 浜 第 2・3 ポ ン プ 場	尼崎市西海岸町
可 動 橋	東 高 洲 橋	尼崎市東高洲町～大高洲町
無 線 局	あまがさきこうじむしょ 局 (基 地 局)	尼崎市道意町7丁目21 兵庫県尼崎港管理事務所内
	あまがさきこう1 局 (陸 上 移 動 局)	同上、車載
	あまがさきこう2 局 (〃)	同上、車載
	あまがさきこう3 局 (〃)	尼崎市道意町7丁目21 兵庫県尼崎港管理事務所内
	あまがさきこう4 局 (〃)	尼崎市西海岸町 尼崎港集中CC内
	あまがさきこう5 局 (〃)	尼崎市丸島町 丸島水門内
	あまがさきこう6 局 (〃)	尼崎市東高洲町 東高洲橋構内
	あまがさきこう7 局 (〃)	尼崎市東本町 松島排水機場内

注 閘門、水門は、付帯施設を含む。

開門操作中止に伴う通知系統



様式第 1

尼崎港閘水門操作記録表

令和 年 月 分

1. 気象

兵庫県

降雨量

尼崎市西海岸町

時間最大雨量	日 時	・ mm/h	
最大日雨量	日	・ mm	
最大総雨量	-----	・ mm	

最大風速

尼崎市西海岸町

日 時	日 時 分	-----	
風 速	-----	・ m/s	
風 向	-----		

気温

尼崎市西海岸町

最 高	日 時 分	・ °C	
最 低	日 時 分	・ °C	

気圧

尼崎市西海岸町

最 高	日 時 分	・ hpa	
最 低	日 時 分	・ hpa	

2. 閘水門操作時間

閉 鎖 時 間 合 計	時間 分
一 日 平 均 時 間	時間 分

3. ポンプ運転時間(一台当たり)

東浜第1ポンプ場(2台)	時間 分
東浜第2ポンプ場(4台)	時間 分
東浜第2ポンプ場(2台:電動)	時間 分
東浜第3ポンプ場(2台)	時間 分
松島排水機場 (6台)	時間 分

4. 通航船舶

場 所	船 種	貨 物 船		舩		曳 船		そ の 他		計	合計
		出	入	出	入	出	入	出	入		
第一閘門	操作時										隻
	開放時										
第二閘門	操作時										隻
	開放時										
計		隻	隻	隻	隻	隻	隻	隻	隻	操 開	隻

尼崎港閘水門施設管理施行細則

令和4年8月

尼崎港管理事務所

尼崎港閘水門施設管理施行細則

(趣 旨)

第 1 条 この細則は、尼崎港閘水門施設管理規程に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(警戒体制表)

第 2 条 尼崎港管理事務所閘水門管理所及び施設操作室には、所員の見やすい場所に下記事項を掲示するものとする。

1. 警戒配備動員編成表
2. 警戒時業務分担表
3. 水防時通報先一覧表

(勤務時間の割振り)

第 3 条 (削除)

(施設の点検整備)

第 4 条 施設課長は、月間施設整備計画表を作成して尼崎港管理事務所長(以下「所長」という)の承認をうけ、その実施状況を翌日はじめに所長に報告しなければならない。

- (1) 施設は別表第 1 に掲げる基準により定期整備及び試運転を行うこと。
- (2) 内外検潮所は、必要なときに調査をおこない沈下等が判明したときは、すみやかに修正すること。
- (3) 風向計、風速計、雨量計、気圧計、検潮器に誤差のある場合は、すみやかに修正すること。
- (4) 通信、信号設備は常に良好な状態にしておくこと。

(勤務日誌、閘門操作日誌)

第 5 条 施設の看視・操作等を行った時は各様式に記録し、施設課長に報告するものとする。尚、各様式の確認(記録欄)は、運用に応じて、適に変更できるものとする。

- (1) 閘門看視・・・閘門看視日誌(様式第 1 号)及び閘門出入船舶調査(様式第 2 号)
- (2) 閘門操作・・・閘門操作日誌(様式第 4 号)
- (3) 東高洲橋勤務・・・東高洲橋操作日誌(様式第 3 号)
- (4) 気象及び施設操作一覧(様式第 5 号(改訂版))※但し、看視・操作業務受託者に限り作成のこと

(5) 閘門整備・・・閘門整備日誌（様式第7号）

（調査測定）

第 6 条 次の事項について調査測定し、その記録を整理保存するものとする。

- (1) 気圧、気温、風向、風速、雨量及び内外水位
- (2) 閘水門操作時間及びポンプ運転時間
- (3) 通航船舶（船種別ただし丸島水門、北堀水門を除く。）

（気象発表・水防指令及び事故報告）

第 7 条 職員は、気象発表・水防指令（様式第8号）を整理し、施設課長に報告するものとする。

2 事故発生の場合、ただちに所長に報告し、指示をうけるものとする。また、事故内容は事故報告書（様式第6号）にまとめ、所長の確認を受けるものとする。

（警戒勤務準備）

第 8 条 所長が警戒勤務を命じるときは、各班長は直ちに次の準備行為を行なわなければならない。

- (1) 各班長はあらかじめ定めたところにより、人員並びに器材を配置すること。
- (2) 排水ポンプ、非常用自家発電装置及び防衝工の操作準備を行うこと。
- (3) 前各号のほか、必要と認めた事項。

（警戒勤務時の処置）

第 9 条 所長は、別表第2の基準によりポンプ排水を命ずるものとする。

ただし、気象状況を勘案して、ポンプ運転及び内水位の変更をすることができる。

（突発事態の措置）

第 10 条 勤務職員は予想されない非常事態が発生し、所長の指示をうけるいとまがないときは、迅速かつ適切な措置をとらなければならない。

2. 前項の場合、その旨を直ちに所長に報告するものとする。

別表第1

施設の点検整備の基準

	定期整備	試 運 転
排 水 ポ ン プ	必要なとき	<u>毎月2回以上</u>
閘 門 ・ 水 門	〃	_____
可 動 橋	〃	_____
自 家 用 電 気 工 作 物	兵庫県自家用電気工作物保安規程による。	
防 衝 工 吊 込 用 クレーン	労働基準法の定めるところによる。	<u>毎月1回以上</u>
天 井 ク レ ー ン	労働基準法の定めるところによる。	_____
気 象 水 文 観 測 設 備	<u>年次点検を実施</u>	_____
無 線 局	電波法の定めるところによる	_____

別表第2

ポンプ排水の基準

注意報、警報の別	最低運転内水位
大雨注意報、大雨警報又は大雨特別警報発令時	原則 T.P.-0.7メートル (<u>O.P.+0.6メートル</u>)
洪水注意報又は洪水警報発令時	同 上
高潮注意報、高潮警報又は大雨特別警報発令時	同 上
水 防 指 令 1、2、3 号 発 令 時	同 上
津波注意報、津波警報又は大津波警報発令時	同 上

様式第1号

閘門監視日誌

確認欄

令和 年 月 日 曜日 天候					従事者氏名										
第一 閘 門	従事時間		監視者名		操作外の運転回数		(緊急時運転記録) 第一排水機場 第三排水機場 1号機 1号機 2号機 2号機 第二排水機場 丸島水門 3号機 4号機 (電)5号機 北堀水門 (電)6号機 第1閘門管理橋 第2閘門管理橋								
	:	~	:												
	:	~	:		前扉	回									
	:	~	:		後扉	回									
第二 閘 門	従事時間		監視者名		操作外の運転回数										
	:	~	:												
	:	~	:		前扉	回									
	:	~	:		後扉	回									
操 作 記 録	閉	時	分(内)	特 記 事 項											
			操作回数								回				
	開	時	分(外 内)												
	閉	時	分(内)												
			操作回数								回				
	開	時	分(外 内)												
	閉	時	分(内)												
			操作回数								回				
連 絡	庄下川警戒水位		時刻	:	発信者		県受信者		閘門連絡水位	時刻	:	発信者		県受信者	

様式第2号

尼 崎 閘 門 出 入 船 舶 調 査

船別 時間	入 港 (第一閘門)						出 港 (第二閘門)					
	貨物船	タンカー	舢舨	タンカー	曳船	その他	貨物船	タンカー	舢舨	タンカー	曳船	その他
0~1												
1~2												
2~3												
3~4												
4~5												
5~6												
6~7												
7~8												
8~9												
9~10												
10~11												
11~12												
12~13												
13~14												
14~15												
15~16												
16~17												
17~18												
18~19												
19~20												
20~21												
21~22												
22~23												
23~24												
小計												
計												

※第一閘門より運行

※第一閘門より運行

※第二閘門より運行

※第一閘門より運行

隻

隻

東高洲橋操作日誌

確認欄	

令和 年 月 日 曜日 天候									従事者氏名		
通航船舶調査									特 記 事 項		
船 別 操作時間	出 港				入 港				動作電 流 値	上昇時(※初回1回のみ)	下降時(※同左)
	貨物船	舩	曳・船	その他	貨物船	舩	曳・船	その他		A	A
6:00～6:30									可 動 橋		
9:10～9:30											
12:30～13:00											
15:20～15:40									そ の 他		
19:30～20:00											
小 計									9時現在の動力メーターの読み		同電灯メーターの読み
出港船計				隻	入港船計				南側		北側
陸 上 交 通 調 査	南 行				北 行				操作従事者氏名		その他記載事項
	第1回操作時				台				第1回操作		
	第2回操作時				台				第2回操作		
	第3回操作時				台				第3回操作		
	第4回操作時				台				第4回操作		
	第5回操作時				台				第5回操作		

開 門 操 作 日 誌

令和 年 月 日 天候					操 作 員		起 至		起 至		起 至		起 至		確認欄	
開門操作開始					日 時 分		第 1 開 門									
開門操作終了					日 時 分		第 2 開 門									
入 港					出 港											
時 間	貨 物 船 タンカー	解 船 タンカー	曳 船	その他	時 間	貨 物 船 タンカー	解 船 タンカー	曳 船	その他							
5	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
10	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
15	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
20	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
25	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
30	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
35	～				～											
	～				～											
	～				～											
	～				～											
38	～				～											
	～				～											
	～				～											
	計				計											
閉鎖時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +			取 扱 船 数											
開放時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +														
閉鎖時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +			入 港 隻 + 出 港 隻 = 合 計 隻											
開放時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +														
閉鎖時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +			操 作 回 数											
開放時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +														
閉鎖時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +			第1開門 回 回 内空運転 を含む											
開放時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +														
閉鎖時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +			第2開門 回 回											
開放時間	時 分	外O. P. + 内O. P. +														

様式第5号(改訂版)

気象及び施設操作一覧

															確認欄			
令和 年 月 日、 曜日															記録者:			
気 象	満 潮		:		O. P+			m		干 潮		:		O. P+			m	
			:		O. P+			m				:		O. P+			m	
	最 大 風 速	:		風 向		気 温	最 高		°C	気 圧	最 高		hpa	雨 量	閘 門 伊 丹	mm		
		m/s					最 低				°C						最 低	
操 作 状 況	閘 門					北 堀 水 門					丸 島 水 門							
	閉 鎖	:		内	m	閉 鎖	:		外	m	閉 鎖	:		外	m			
	開 放	:		外	m	開 放	:		外	m	開 放	:		外	m			
	閉 鎖	:		内	m	閉 鎖	:		外	m	閉 鎖	:		外	m			
	開 放	:		外	m	開 放	:		外	m	(参考) 庄 下 川 水 門							
	閉 鎖	:		内	m	閉 鎖	:		外	m	開 放	:		外	m			
	開 放	:		外	m	開 放	:		外	m	閉 鎖	:		外	m			

様式第6号

所 長	副所長 (事務)	副所長 (技術)	所長補佐兼 施設課長	係 員	担 当

事 故 報 告

発 生 の 日 時

発 生 の 場 所

事 故 の 概 要

措置

事 故 現 認 書

船 名

船 籍 名

船籍番号

船主（住所氏名）

船長（住所氏名）

連 絡 先

事故発生の原因

上記事故を認めます。

令和 年 月 日

兵庫県尼崎港管理事務所長 様

職氏名

印

閘門整備日誌

確認欄

令和 年 月 日 木曜日 天候				従事者氏名	AM PM		
作業箇所					運転記録	第1排水機場	
						1号機	
						2号機	
						第2排水機場	
						(電) 1号機	
						(電) 2号機	
						3号機	
						4号機	
						第3排水機場	
						1号機	
				2号機			
				丸島水門			
				北堀水門			
作業内容	AM				メーター指示	構内	
						電気	
						水道 25A	
						75A	
						第1排水機場	
						地下燃料タンク A (灯油)	
						地下燃料タンク B (灯油)	
						燃料小出槽 (灯油)	
						水道 25A	
						第2排水機場	
						地下燃料タンク (重油)	
						集中CC	
						地下燃料タンク (重油)	
						丸島水門	
						電気	
						水道	
						燃料タンク (重油)	
						北堀水門	
				電力			
				電灯			
				水道			
PM							
休暇							
事務連絡				鍵当番			

作成

気象発表・水防指令

年 月			※場所: 尼崎市		確認欄	
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		
日	曜日	発表時刻	内容			
		:	・注意報:			発令・継続 切替・解除
			・警 報:			
			・水防指令 第	号		

閘水門操作についての心得

昭和48年1月12日

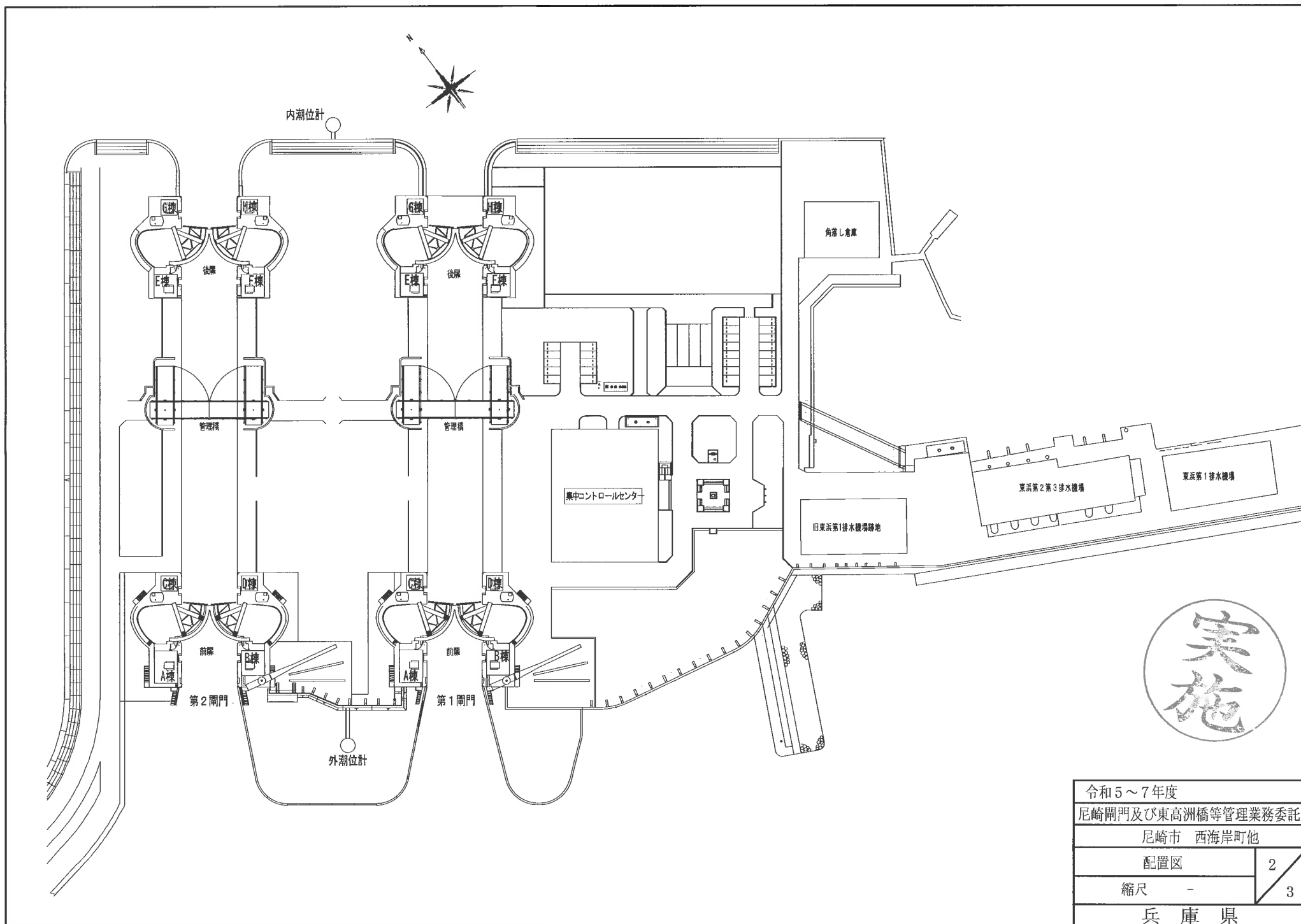
平成16年8月 改正

1. 門扉を操作するときは、門扉付近を通過しようとしている船舶が無いかどうか、また係留している船舶が門扉に接近しすぎていないかどうかを、目視及びテレビモニターにより必ず確認する。
2. 門扉を開放するときは前扉を開放する場合は後扉の閉鎖状態、後扉を開放する場合は前扉の閉鎖状態を確認する。また、閘室内に船舶が係留している場合は、船舶の乗組員が係留作業を終了しているかどうかを確認する。なお内外潮位差の大きい場合（50cm以上）は、少し開放して一旦停止し、潮位差が少なくなってから全開する。
3. 門扉を閉鎖するときは、船舶が門扉付近に無いかどうか、確実に門扉を通過したかを確認した上で閉鎖の操作に移る。
4. 門扉を開放し船舶を通閘させる時は、防衝鎖が下がりきっていることを必ず確認する。
5. 門扉を操作しようとするとき、及び門扉の動作中、並びに操作終了直後は、操作する門扉付近の状況、係留あるいは航行船舶の状況、その他閘室内の状況等を看視し、異常が有れば操作を中止し安全を確認のうえ再操作を行う。
6. すべて安全の確認は、看視員自身の目によって、確かめることを原則として、その他の装置による危険防止は、あくまで補助のものとして心得て操作にあたる。
7. 看視室からでは安全が確認できないような場合は、見込み操作を行うことなく、テレビカメラの利用、マイクによる呼びかけ、誘導あるいは必要により現場へ出向き確認するなど確実に安全を期する。
8. 操作を引き継ぐ場合は細かな事柄でも確実に申し受ける。又、自分自身でもう一度、安全装置が解除されていないかなどを点検する。
9. 補助看視員は、看視する必要がある場所が死角に入らない位置で、看視を補佐するとともに、積極的に操作員に助言、注意喚起を行い、率先して安全のための現場確認を行う。
10. 船舶からの呼びかけなどの障害にならないように、必要な場合以外はテレビ・ラジオ等を使用しない。
11. その他
閘門、丸島水門、排水機場等は重要な防災設備であることを認識し、水防時はもちろん、平常時においても、「水防活動要綱」、「尼崎港閘水門施設管理規定」、「尼崎港閘水門施設管理施行細則」等を熟知し、常に気象、海象情報に注意し適切に操作すること。



付近見取図

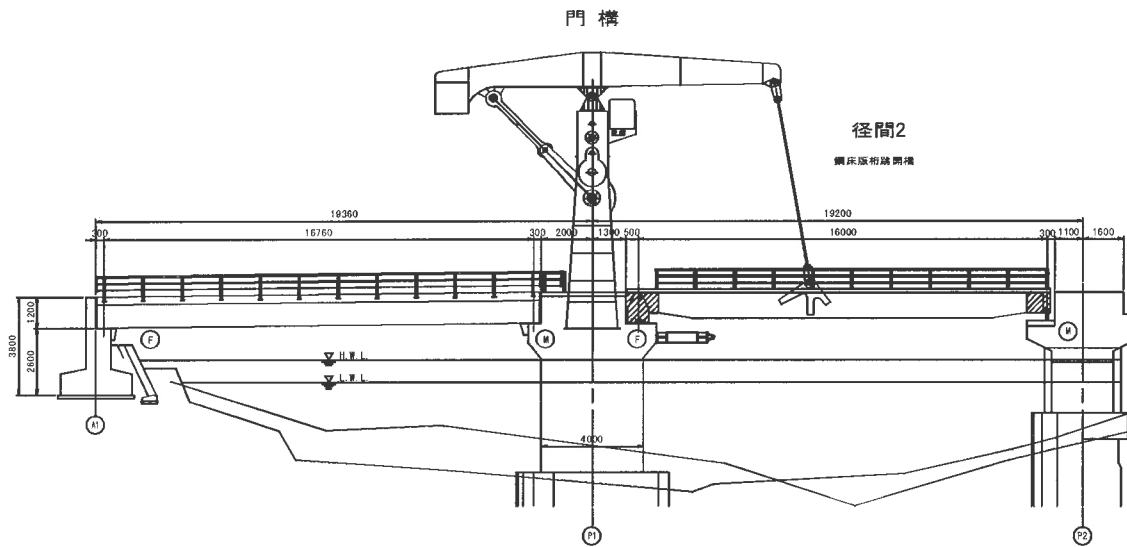
令和5～7年度	
尼崎閘門及び東高洲橋等管理業務委託	
尼崎市 西海岸町他	
付近見取図	1
縮尺 -	3
兵庫県	



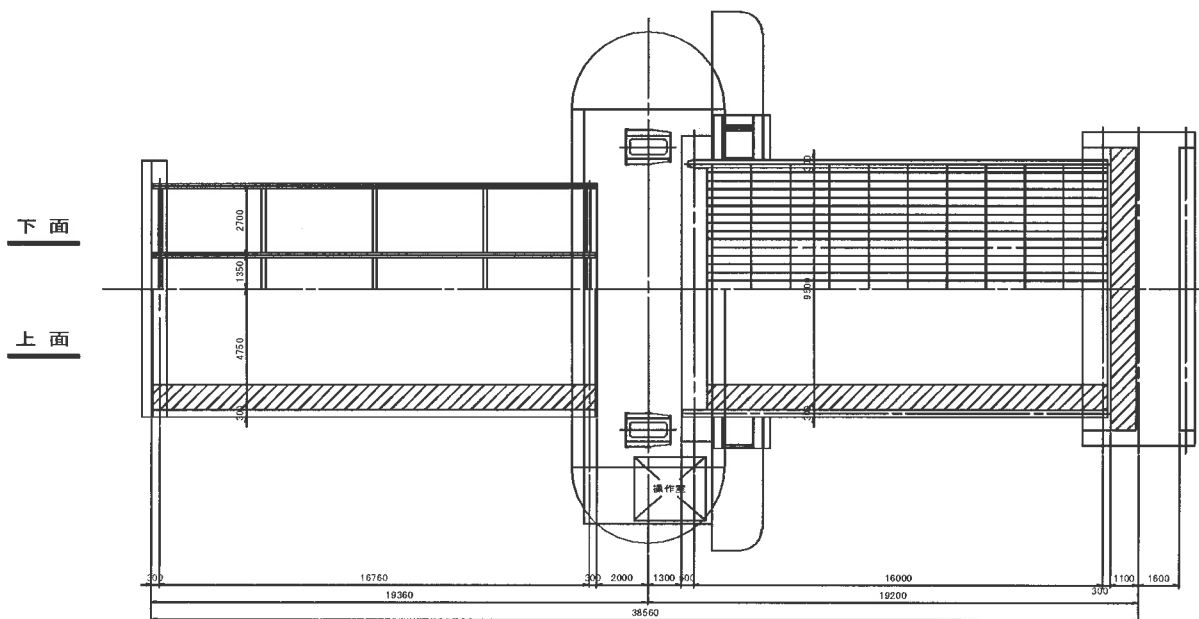
令和5～7年度	
尼崎閘門及び東高洲橋等管理業務委託	
尼崎市 西海岸町他	
配置図	2
縮尺 -	3
兵庫県	

東高洲橋 一般図

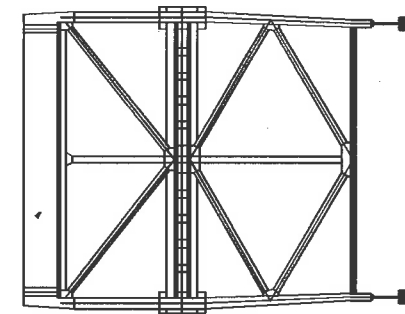
側面図



平面図



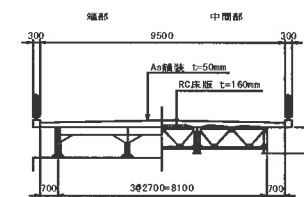
門構部平面図



横断面図

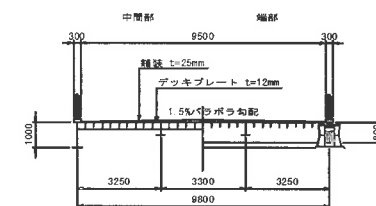
径間1

活荷重合成桁



径間2

鋼床版桁梁橋



令和8～10年度	
尼崎開門及び東高洲橋等管理業務委託	
尼崎市 西海岸町他	
東高洲橋	3
縮尺	-
兵庫県	3